



第3回 スーパーコンピュータ「富岳」シンポジウム「富岳百景」 —成果創出加速プログラム・政策対応利用課題・Society 5.0 推進利用課題—

高度情報科学技術研究機構(理事長 田島 保英)は、2023年12月1日(金)に、第3回 スーパーコンピュータ「富岳」シンポジウム「富岳百景」—成果創出加速プログラム・政策対応利用課題・Society 5.0 推進利用課題—をオンラインにて開催します。

誕生から4年。現在も、世界最高水準の性能を誇るスーパーコンピュータ「富岳」(*1)。

文部科学省が推進する「富岳」成果創出加速プログラム(*2)で生まれた様々な研究成果に加えて、今年も、政策対応利用課題、Society 5.0 推進利用課題の成果についても、第一線の研究者から皆様に向けてわかりやすくご紹介します。

また、パネルディスカッションでは、特に理系の学生の間で絶大な人気を誇る教育系 YouTuber、ヨビノリたくみ氏をコーディネータに迎え、「計算科学の未来・AI との融合」というテーマについて、パネラー間で熱く意見交換していただきます。

「富岳」を駆使して生み出された多彩な研究成果に触れられる機会ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

詳細はこちら <https://fugaku100kei.jp/events/kasoku/2023/>

開催情報

- 開催名称：第3回 スーパーコンピュータ「富岳」シンポジウム「富岳百景」
--成果創出加速プログラム・政策対応利用課題・Society 5.0 推進利用課題--
- 開催日時：2023年12月1日(金) 10:00~17:30
- 開催場所：オンライン (Zoom)
- 対象：企業・一般の方・高校生・大学生
- 参加費：無料 (ただし、事前の参加申し込みが必要です)
- 講演予定：

<セッション①> テーマ：安心安全な社会の実現 (4 講演)

発表課題：・日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に係る長周期地震動の検討

政策対応利用課題 (内閣府)

- ・豪雨防災、台風防災に資する数値予報モデル開発

政策対応利用課題 (気象庁)

- ・経済活動と感染拡大防止の両立の実現のための「飛沫シミュレーション」の実施

政策対応利用課題 (内閣感染症危機管理統括庁)

- ・「富岳」を基軸とした創薬 DX プラットフォームの構築

Society 5.0 推進利用課題 (一般財団法人ライフインテリジェンスコンソーシアム)

<セッション②> テーマ：未来社会の創造（4講演）

発表課題：・AIの活用によるHPCの産業応用の飛躍的な拡大と次世代計算基盤の構築

領域：産業競争力の強化

成果創出加速プログラム 課題代表者：加藤 千幸（東京大学）

・シミュレーションとAIで解き明かす太陽地球環境変動

領域：防災・減災、環境問題／基礎科学の発展、新領域

成果創出加速プログラム 課題代表者：堀田 英之（名古屋大学）

・「富岳」が拓く次世代航空宇宙モビリティとその社会システムへの展開

領域：防災・減災、環境問題

成果創出加速プログラム 課題代表者：伊藤 恵理（東京大学）

・包括的計測情報による多種全脳データ同化と特異的振動活動の探求

領域：健康長寿社会の実現／基礎科学の発展、新領域

成果創出加速プログラム 課題代表者：五十嵐 潤（理化学研究所）

<セッション③> テーマ：計算科学の未来・AIとの融合（パネルディスカッション）

コーディネータ ヨビノリたくみ

パネラー 常行 真司（成果創出加速プログラム領域総括／

東京大学 大学院理学系研究科 教授）

伊藤 恵理（東京大学 教授）

五十嵐 潤（理化学研究所）

6.プログラム：別紙1参照

7.主 催：一般財団法人 高度情報科学技術研究機構(RIST)

8.協 力：一般社団法人 HPCI コンソーシアム、理化学研究所計算科学研究センター

9.参加申込(詳細)：<https://fugaku100kei.jp/events/kasoku/2023/>

▶ 取材をご希望の場合は、別紙2の取材参加申込書にてメールでお申込みください。。



【用語説明】

(*1)スーパーコンピュータ「富岳 (ふがく)」とは

スーパーコンピュータ「京」の後継機として理化学研究所が設置し、2021年3月から共用を開始した計算機。「富岳」と命名されたのは2019年で、2020年6月以降、世界のスーパーコンピュータに関するランキングにおいて、4部門で4期連続1位、うち2部門で7期連続1位を獲得するなど、世界トップの性能を持つ。（「富岳」については、理化学研究所計算科学研究センターHP <https://www.r-ccs.riken.jp/jp/fugaku> をご覧ください。）

(*2)「富岳」成果創出加速プログラムとは

「富岳」を用いた成果を早期に創出することを支援するため、文部科学省が令和2年度より実施している事業。(1)健康長寿社会の実現、(2)防災・減災、環境問題、(3)産業競争力の強化、(4)基礎科学の発展、新領域の4領域について課題の選定が行われ、選定された課題は、「富岳」の計算資源を優先的に無償で使用し、速やかな成果創出を目指す。

(詳細は、広報サイト「富岳百景」の「富岳」成果創出加速プログラム https://fugaku100kei.jp/fugaku/promoting_research.html をご覧ください)

(ご連絡・お問い合わせ)

第3回「富岳百景」シンポジウム(2023)事務局 窓口

10:00～17:00(土日・祝日休)

メールアドレス info@fgksympo-desk.jp

お問い合わせ <https://forms.office.com/r/nyKakU3ePJ>

第3回 スーパーコンピュータ「富岳」シンポジウム「富岳百景」
--成果創出加速プログラム・政策対応利用課題・Society 5.0 推進利用課題--

セッション	タイム スケジュール	講演（課題名）	登壇者	時 間
受付開始	10:00			
オープニング	10:00～10:10	ご挨拶	文部科学省	10 分
セッション ①	10:10～10:35	政策対応利用課題： <u>日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に係る長周期地震動の検討</u>	内閣府政策統括官 （防災担当）付参 事官（調査・企画 担当）付 参事官補佐 川畑 亮二	25 分
	10:35～11:00	政策対応利用課題： <u>豪雨防災、台風防災に資する数値予報モデル開発</u>	気象庁情報基盤部 数値予報課数値予 報モデル基盤技術 開発室（数値予報 開発センター） 室長 佐藤芳昭	25 分
	11:00～11:25	政策対応利用課題： <u>経済活動と感染拡大防止の両立の実現のための「飛沫シミュレーション」の実施</u>	理化学研究所/神 戸大学 教授 坪倉 誠	25 分
	11:25～11:50	Society 5.0 推進利用課題： <u>「富岳」を基軸とした創薬 DX プラットフォームの構築</u>	弘前大学 大学院医 学研究科附属 健 康・医療データサ イエンス研究セン ター 教授 玉田 嘉紀 /理化学研究所計 算科学研究センタ ー 上級研究員 大田 雅照	25 分

昼休み	11:50～13:30			70分
セッション ②	13:30～13:50	「富岳」成果創出加速プログラムの概要紹介	成果創出加速プログラム 領域総括/東京大 大学 大学院理学系 研究科 教授 常行 真司	20分
	13:50～14:15	成果創出加速プログラム課題： <u>AI の活用による HPC の産業応用の飛躍的な拡大と次世代計算基盤の構築</u>	東京大学生産技術 研究所 教授 加藤 千幸	25分
	14:15～14:40	成果創出加速プログラム課題： <u>シミュレーションと AI で解き明かす太陽地球環境変動</u>	名古屋大学 教授 堀田 英之	25分
	14:40～15:05	成果創出加速プログラム課題： <u>「富岳」が拓く次世代航空宇宙モビリティとその社会システムへの展開</u>	東京大学 教授 伊藤 恵理	25分
	15:05～15:30	成果創出加速プログラム課題： <u>包括的計測情報による多種全脳データ同化と特異的振動活動の探求</u>	理化学研究所計算 科学研究センター 上級研究員 五十嵐 潤	25分
休憩(調整)	15:30～15:50			20分
セッション ③	15:50～16:50	パネルディスカッション テーマ： 計算科学の未来、AI との融合	コーディネータ ヨビノリたくみ	60分
	16:50～17:10	セッション③質疑応答		20分
クロージング	17:10～	挨拶・アンケート	RIST	